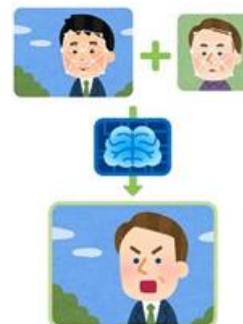


そのニュース、本当に正しいの？ ～情報の真偽を見抜くためには～

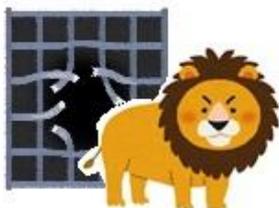
「フェイクニュース」とは？

「フェイクニュース」とは、虚偽（fake）の情報でつくられたニュースのことで、一般的にはインターネット上で発信、拡散される偽のニュースを指します。フェイクニュースは、読んだ人に「そうに違いない」、「そうかもしれない」と思わせるような内容で人々の注目を集め、真実だと思い込んだ人が、SNS上に拡散することで、あっという間に世界中に広がる傾向があります。

前回のアメリカ大統領選挙にも、フェイクニュースが大きな影響を与えたと言われており、最近では、人工知能（AI）などの高度な技術を駆使した、本物と見分けがつかないような偽物の動画（＝「ディープフェイク」）も問題になっています。



ライオンが脱走！？



日本でも、平成28年の熊本地震の発生直後に、「動物園のライオンが脱走した」という内容を画像と共にSNSに投稿した男が、偽計業務妨害容疑で逮捕されるという事件が起こりました。この投稿は1時間で2万件以上「リツイート（転載）」されて広がり、動物園には問い合わせの電話が相次いだそうです。

同様の出来事は、災害など社会不安のたびに繰り返され、最近では「武漢からの発熱症状のある観光客が、空港の検疫検査を振り切って逃げた」といった誤った情報がSNS上に拡散したため、関係機関がSNS上の情報を否定することも発生しています。

2つのポイント

1 虚偽の情報や不確かな情報を、軽い気持ちでインターネット上に投稿しない、拡散しない

上の熊本の事件でも、逮捕された男は「悪ふざけで投稿した」と供述しています。みんなを驚かそうと軽い気持ちでSNSなどインターネット上に投稿した内容は、瞬時に、地球規模で拡散をします。その情報が広がることで、取り返しのつかない大きな影響を及ぼし、場合によっては犯罪者として逮捕されたり、損害賠償を請求されたりするかもしれないことを心に留めておくべきです。

また、誤った情報を拡散することは、だまされた被害者であった自分が、他人をだます加害者になってしまうということです。インターネット上の他のサイト、本や新聞などの別のメディアなど、複数の情報源からその真偽を確かめましょう。



2 情報をそのまま信じずに、それが本当なのかどうか、必ず考える

情報の真偽を見抜く力は、インターネットに限らず、情報を活用する上で大事な力になります。一度立ち止まって、「その情報に根拠があるのか」、「情報源は何か」、「ひょっとしたらウソではないか」と批判的に考えることを習慣づけましょう。



<参考>・NHK「フェイクニュース特集 あなたは被害者？加害者？」 <http://www.nhk.or.jp/gendai/articles/3930/index.html>

・NHK「その拡散 ちょっと待って」 https://www.nhk.or.jp/d-navi/2020/article_34.html

本メールに関して御質問、お問い合わせがある場合は下記まで御連絡ください。

【担当】福井県安全環境部県民安全課 角田

☎:0776-20-0745（直通） メール：h-kakuda-um@pref.fukui.lg.jp